

Beat the Skills Gap

7 REASONS TO HIRE
IT-CERTIFIED STAFF



CompTIAが最近行った調査によると、今日のビジネスにおける主要な懸念事項は、「ITのスキルギャップ」であることが報告されています。

この報告書では、組織の今後の将来を盤石にし、ビジネスを強固なものにするために、認定資格を取得している候補者を採用することの優位性について報告しています。¹

企業の40%は戦略的な意味で見ると、テクノロジー面において望ましい状態にあるとは言えません。²

その理由として、「ITスキルギャップ」が阻害要因となっていることが、500社を上回るITおよびビジネスの管理職を対象にしたCompTIAの調査からわかっています。

回答者は、業務プロセス自動化、モビリティ、コラボレーション、そして仮想化といった新たなテクノロジーや手法に精通し、認定資格を取得している候補者を見つけることが大変困難であると述べています。

中核的テクノロジーであるか新興テクノロジーであるかを問わず、スキルの欠如はすべてのビジネスに有害な影響をもたらしています。調査対象となった企業の83%が、顧客サービスやスタッフの生産性から新製品開発や商品化スピードに至るまでのビジネスエリアにおいて、少なくとも1つの過程においては、スキルの欠如が影響を与えていると考えています。²

企業は、認定資格を取得している候補者を採用することでこのギャップに対応しようと考えています。適切な評価を得た認定資格を取得することで標準化された知識、業務能力を有した人材を採用することで、企業定着率を向上し、最終的には、組織自体に重要な価値を保てるようにしなければなりません。

採用決定に影響を与える要因

既存スタッフのスキル不足

中小企業の4分の1近くが、社員のスキル不足が企業の課題となっていると述べています。³ 一定のITコンピテンシーのスキルを持ち、かつ幅広いITの中核となるスキルを持った社員が必要であることを認識しつつある会社はますます増えてきています。最近のTalkTalkビジネス調査によると、追加予算が得られれば、すべてITスタッフの教育に費やすと回答した企業は64%に上りました。⁴

困難なスキル評価

IT部門の人材採用に際して企業が直面する問題の一つに、候補者は自分には基本的なIT知識があると信じているのに、実際はその言葉を裏付ける認定資格を取得していないことが頻繁にあるということです。このために、会社側として候補者の専門性や知識レベルを評価することが困難になっているのです。

効率的な採用をしなければというプレッシャー

ほとんどの会社は自社のIT活用を向上させることを意図しています。しかしながら一方で、90%の会社は、効率/効果の面で自社のIT活用が望ましい状態ではないと考えている²ため、採用には慎重にならざるを得ないという報告がされています。

認定資格を取得している候補者を採用する理由

1. 習得しているスキルの証明

認定資格を取得している候補者を採用することは、既に業務に必要なスキルを習得しており、入社の日から業務にかかる準備が整っていることを意味します。企業幹部の4分の3が、認定資格は、候補者の有しているスキルや理解の度合いを測る上では重要な要素だと考えています。²

IT認定資格は、候補者が業務にふさわしく、必要な知識や経験を備えているかを判断する第一段階のフィルターとなるものです。さらに、もし候補者が必要となるスキルを習得していることを証明できれば、入社直後からスキルギャップを低減することを可能とします。

2. 知識の共通基盤

IT認定資格を取得している社員で構成されるチームが、知識の共通基盤を持つことによって得る利点があるという点について、企業幹部の60%が「そう思う」または「とてもそう思う」と回答しています。²

IT認定資格の全社的な導入により、全社員が同一の評価軸で適切に評価されていることを確実にすることができます。また、全社員が問題解決に向けて同一の手法や生産性の高い方法を選択できることは、顧客に対してより効率的かつ一貫性のあるレベルのサービスを提供することを意味します。これにより、発生した問題の修復にかかる時間を減少させる手助けともなります。IT部門の全員が、IT認定資格により一定のスキルレベルを習得することにより、社内で発生するITのあらゆる問題は数人の社員により効率的に解決できる場合があります。そして、最終的には、何が問題なのか、どのように解決するのが全ITスタッフの間で共通の知識となるでしょう。

3. 経験の証明

IT認定資格を取得している社員の経験値は証明されていると、企業幹部の10人に1人は考えています。²

候補者が、IT認定資格を取得することにより、雇用側は、業務を適切に実施するスキルを習得していることをすぐに理解することができます。これは、まったく知らない候補者を評価する上では、非常に重要となります。IDCの報告では、プロジェクトの成功には効果的なトレーニングが必須であるとするIT管理職は、80%に上ります。このことはCompTIAが実施した調査「Employer Perceptions of IT Training and Certification (ITトレーニングと認定に関する雇用者の認識)」調査でも、裏付けられています。IT認定資格を取得しているITスタッフは、第三者により評価されたプロジェクト管理スキル、新規または複雑なテクノロジーの理解能力、そして時間内もしくは予算内にプロジェクトを終わらせる能力さえも備わっていると雇用者が考えていることが報告されています。

4. 高いパフォーマンス

セキュリティ、ネットワーキング、サーバの認定資格に関してIDCが実施した調査によると、認定資格を取得している人材の割合が高い組織では、オペレーションのパフォーマンスに向上が見られました。その中には、エンドポイント・セキュリティ、ネットワーク・アベイラビリティ、そしてオンタイムのアプリケーション配備も含まれています。⁵

認定資格を取得しているITプロフェッショナルは、取得していない人よりも高レベルのパフォーマンスを示すことができます。また、トレーニングにより、スキルや知識がIT部門全体で共有されるため、生産性の向上とダウンタイム削減を図ることができ、業務効率が向上することも報告されています。複数のITプロフェッショナルが同じ知識ベースで業務を行えば、プロジェクトを予定内に完遂したり、知識により創出されるイノベーションをより効率的に行うことを可能とします。

5. 社員の定着率

TalkTalkビジネス調査によると、より高い技術知識を持つことで、自分の価値の向上を感じられると思っているIT人材は3分の2います。しかしながら、このIT人材の40%は全くトレーニングを受けていません。⁴

社員が認定資格を取得する機会を社内に展開することで、専門的な人材育成を促進するだけでなく、社員が長期的な恩恵を受けられるようになります。このことは結果として、社員は自身の価値がより認められていると感じ、企業に対する帰属意識を増すことにつながります。

6. セキュリティ

セキュリティ侵害やインシデントに関しては、人的エラーがいまだに主な要因であると、多くの企業が回答しています。セキュリティがすべての会社における優先事項であることを考えると、これは懸念すべき重要事項です。認定資格を取得している人材を採用することで、入社当初よりITセキュリティについて配慮するようトレーニングを受ければ、インシデントの予防にもつながり、万が一、セキュリティ侵害が発生した場合でも、リカバリーのために必要な時間を減少することが可能となります。企業幹部の大多数が、IT認定資格を取得している社員がいることで、組織のマルウェアやハッカーに対するセキュリティ度合いが上がり安心につながると回答しています。²

7. 組織の価値

IT認定資格を取得している社員は、問題解決方法がわかるだけでなく、そもそもどのように問題が発生したかをも理解しています。これによって、問題が発生した場合でもより効率的にこれをリカバリーし、今後の教訓として活かせるものとなります。認定資格を取得している社員は、将来的な人材育成の道筋を築くことを可能とし、最終的には、企業全体のIT人材の強化にもつながります。

実際、最も意欲的な企業10社は、企業の成長を促進するためにテクノロジーが果たす役割を重要視している傾向が高く、他社の2倍程になります。また、最も成長が見込まれる企業は、テクノロジーに精通した人材を獲得し、定着させることができます。⁶

43%

IT認定資格を取得している候補者を採用した企業のうち43%が、「IT認定資格を取得している社員は企業にとってより価値がある」という設問に対して「そう思う」あるいは「とてもそう思う」と回答しています。企業の課題となるスキルギャップを特定し、このギャップを埋めるために認定資格を活用している企業の数が増えるのであれば、この割合は、より高いものとなるでしょう。⁶

10社中4社が、今後2年間でIT認定資格の重要度がより増すであろうと回答しています。²

適切に評価されたスキルを習得している候補者を採用することは、企業の課題となっているスキルギャップに事前に対策を講じられるだけではなく、企業にとって将来的に必要となるスキル基盤を持った人材を育成する第一歩となります。

認定資格の活用方法やスキルパス、取得の効果など、より詳細な情報をご希望の場合には、CompTIA日本支局のWebサイトをご覧ください。CompTIA日本支局までお問い合わせください。

1. CompTIA 'State of the IT Skills Gap', 2013 (CompTIA 「ITスキルギャップの状況」 2013年)
2. CompTIA, 'International Technology Adoption and Workforce Issues study', May 2013 (CompTIA 「国際的なテクノロジー採用と労働力問題」 2013年5月)
3. TalkTalk Group, 'Geared for growth: SMEs and the power of digital', April 2013 (TalkTalk Group 「成長に向けて：中小企業とデジタルの力」 2013年4月)
4. TalkTalk Business 'Currency of Technology' Report, April 2013 (Talk Talk Business 「テクノロジーの流通」報告 2013年4月)
5. CompTIA 'The Value of IT Certifications', Whitepaper, March 2013 (CompTIA 「IT認定資格の価値」 2013年3月)
6. TalkTalk Group, 'Geared for growth: SMEs and the power of digital', April 2013 (Talk Talk Group 「成長に向けて：中小企業とデジタルの力」 2013年4月)



CompTIA日本支局 www.comptia.jp

 www.facebook.com/CompTIAJP  twitter.com/CompTIA_JP

〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-4-9 水道橋MSビル7F

TEL 03-5226-5345 / FAX 03-5226-0970 / e-mail info_jp@comptia.org